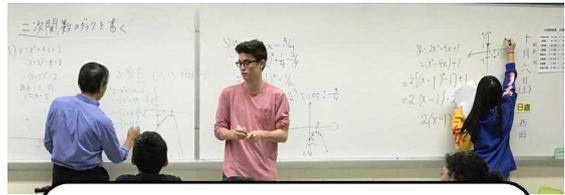


## □授業研修 中・高等部 ～国語・数学～

教師の資質能力と授業力の向上を図るための授業研修ですが、日本のように研究部があって研究テーマをもとに皆で共同研究するわけではありません。授業の教科や内容は、個々人が選び、派遣の校長・教頭と同学年の先生が授業を参加し、事後研で授業の反省や参観した感想を述べ合うと言ったスタイルです。中高等部も同様、教科研究ではないので、あくまでも同学年内で授業を見合うというものです。中高等部の先生方にとっては、自分のクラスの生徒が、他教科の先生の授業をどのような姿勢で受けているのかを、客観的に見るすることができます。



高等部1年数学「二次関数のグラフの書き方」



中等部3年国語「挨拶－原爆の写真によせて」

## □自主研修会 「久永塾」～ワンポイント講座～

先生方有志による自主研修会の要請を受け、1時間のコマをもらって「久永塾」ワンポイント講座を行いました。

ほとんどの先生方が公開研究会に参加したことがなく、公開授業を見たことがありません。日本での教職経験がある先生は数名しかいません。

そこで、豊成小学校の公開研究会の授業ビデオを視聴しながら、授業解説をしました。授業の構成の仕方や流し方、発問や板書、指導案の書き方など、学習指導要領も含めて解説しました。また、後半は、音読の指導方法について、実際に生徒になったつもりでワークショップスタイルで学習しました。授業ビデオはとても参考になり、ワークショップの体験は、翌日からの授業で実践した先生もいました。第2回目のリクエストもいただきました。



「久永塾」では、帯広市教育研究所から資料をいただき、有効活用しました。

## □研修交流 ～ニューヨーク補習授業校授業参観～

NY補習授業校W校(ウエストヒルズ校)を訪問しました。

研修の一環としてNY日本人学校・NY補習授業校・NJ日本人学校・NJ補習授業校の4校で、年に2度開催。他校の実践に学び、自分たちの授業や学級経営、学校運営に生かすことが目的です。NY補習授業校は、W校の他にL校(ロングアイランド校)もあり、隔年で両校を訪問しています。

NY補習授業校は、本校と同じく幼児部・初等部・中等部、高等部を併設した一貫教育を推進しています。授業では、どの学級もデジタル教科書や電子黒板を使って指導、アクティブな学習も多く見られました。参観した本校の先生方にとっては大いに参考になりました。



机上がちよつと  
気になりました



アメリカでの私の研究テーマは「アメリカの教育事情について」です。自分の生活圏であるニュージャージー州の教育事情について、現地の教職員から見聞きしたことや、文献で調べたり、プライベートレッスンを受けている英会話の先生から教えてもらったりしたことをまとめ、シリーズでお伝えしていきます。最終的に、このレポートは英文に訳して、アメリカの研究機関に提出しなければなりません。帰国も間近に迫り、少々焦ってきました。

## □アメリカの教育事情 ～その1～

### ① 教育制度

- ・アメリカの教育制度は、州や市によって異なります。
- ・小学校、中学校、高校、大学の入学年齢も、州や市によって異なり、6-2-4制が多く、次に多いのが6-3-3、他に6-4-2、5-3-4、4-4-4、8-4、6-6など様々ですが、基本12年間学んだ後大学へ進学となります。
- ・就学前の3歳（ナーサリー）、4歳（プレスクール）、5歳（キンダー）と呼ばれ、1年生から6年生（エレメンタリー）、7年生から中学校（ミドルスクール）、高校（ハイスクール）となります。高校1年生は（フレッシュマン）、2年生は（ソフモア）、3年生は（ジュニア）、4年生は（シニア）と呼ばれています。

### ②LEP

・アメリカにおける公立学校以上の教育機関では、英語を母国語としない児童に対して英語テストが行われます。テストの結果、英語の補助が必要とされた児童（Limited English proficient student-LEP）は、個人のニーズに最もあったクラスに振り分けられます。

### ③ESL（外国人のための英語教育）

アメリカの学校に入ってまず困るのが英語です。困難の度合いは、子供の年齢、英語の履修年数、転入する学年によって異なります。

建国以来、世界各国からの移民で構成されてきたアメリカでは、近年こうした問題を解決する手段として、アメリカの学校に初めて入る生徒のために「ESL（English as a school language）＝第二言語としての英語」という外国人用の英語クラスを作っています。

アメリカの教育制度は、日本のように画一的な教育ではなく、個人の能力やニーズに合った開かれた教育を重んじています。

NEW YORK ニューヨークの心を知る **ピズ!**  
Vol.647 October 6, 2018



### ニュージャージー補習授業校で行事

#### ロボット相撲ワークショップ

#### 親子で作業に没頭

#### ロボット作り楽しむ

ニュージャージー補習授業校父母の会（石山亜希子会長）はこの度、9月15日・22日、初等部児童を対象に「ロボット相撲ワークショップ」を開催した。写真、ドクターロボットインク代表の大島健太郎氏を講師に迎え、手作業の能力が衰えがちな子供たちに、実際に自分たちでロボットを作らせた。

このワークショップには、ものづくりを通じて「考える・触れる・作る・動かす・使う・学ぶ・楽しむ」など数学や理科の学びの要素が満載。子供たちは興味津々、保護者も童心にかえり、ロボット作りを楽しんだ。

ロボット相撲ワークショップは、創造する喜びや、パーティクルではない実物に触れながら競技した。このワークショップには、会を行った。はんだを使ったり、導線をつなげたり、親子で作業に没頭していた。ロボットが動いた時には「やったー、動いた」と喜びと感動の声があふれた。

情報は写真提供 ニュージャージー補習授業校 [www.nj.usm.edu](http://www.nj.usm.edu)

2018年（平成30年）9月8日（土） 週刊NY生活

### NJ補習校幼児部 楽しく夏祭り



ニュージャージー補習授業校（NJ州パラマス・天川博校長）で8月25日、幼児部恒例の「夏祭り」が行われた。

体育館に集まった子供たちは3色の色鮮やかな法被（はっぴ）を身に付けて、始まる前から大興奮。今年はアイスクリーム、鶴、クジラをテーマとした3つのお神輿を年長組が担ぎ、体育館の周りをワッショイ・ワッショイと練り歩いた。

次は盆踊り。「エビカニクス音頭・もつたいないばあさん音頭」の曲に合わせて、元気いっぱいに踊る様子はとてもかわいらしかった。年長組は「よさこいソナ」も子供たちの歓声でいっぱい。子供たちにとって夏の最後の思い出作りの楽しい日になった。

ランも披露した。昼食後は「縁日」体験。友達とペアになって「金魚すくい」「的当て」「おぼけトンネル」「ヨーヨー釣り」のスタンブラリーをしたり、「まんが日本昔話」を鑑賞したりした。どのコーナーも子供たちの歓声でいっぱい。子供たちにとって夏の最後の思い出作りの楽しい日になった。